

美容コンクールを主催

群馬県美容業生活衛生(同)

6月26日、美容技術の向上を目的に、群馬県美容コンクールを前橋市の群馬県美容学園で開催した。県内の美容師と専門学生がヘアカットやメイク、着付けの腕前を競った。

学生と一般の2部門に計55人が出場し、「スタイリング」「洋装ブライダル」といった7種目の競技を行った。早さ、仕上がりの正確さ、独創性等の評価項目で採点。制限時間内にイメージ通りに仕上げようと、参加者は真剣な様子で取り組んだ。

なお、一般部門の「カット&ブロー」と「ヘアスタイル」の成績優秀者は、10月の全国大会(広島県)に出場する。



ヘアスタイル競技の部で磨いた技術を披露する出場者と作品

イノベーション伴走支援事業 始動

磯部観光温泉旅館(協)

7月20日、本会のイノベーション伴走支援事業「組合機能強化型事業」における第1回委員会を開催。同事業は、各種課題の解決を目指す組合を対象に、組織機能の強化・再構築を見据えた実行計画やビジョンの策定を支援するもの。



アドバイスをを行う熊倉氏

同組合は、インバウンド(訪日客)向けの対応マニュアルを作成し、磯部温泉地域の観光に関わる人々が「温泉ビギナー」である外国人に対し、日本ならではの温泉文化や入浴方法、マナー



を紹介できるよう人材育成を進めていく。マニュアルは、温泉文化に詳しい高崎商科大学の熊倉浩靖特任教授の助言を受けながら作成していく。

“すえひろDE夜祭り”を開催

桐生市末広町商店街(振)

7月22日、子供たちに夏休みを思う存分楽しんでもらおうと、夏のイベントとして“すえひろDE夜祭り”を開催。来場者はイベント会場にて、夕方からスーパーボールすくいやヨーヨー釣り、輪投げ等で遊び、暗くなってからは200名のビンゴ大会や手持ち花火大会を楽しんだ。

中でも、スイカ割りが特に盛り上がり、子供たちがスイカを割ろうと一生懸命になる様子に歓声が沸いた。組合の予想を超える大勢の子供たちが来場し、待ちに待った夏休みのスタートにふさわしい、大盛況の夜祭りとなった。



行列のできる大人気のスイカ割り(上)



花火でイベントのフィナーレを飾る(右)

Local Area News

電気使用安全月間啓発キャラバン隊

群馬県電気工事(工)

8月1日、県庁昭和庁舎前で電気工事安全月間に係るキャラバン隊の出発式を行った。

当キャラバン隊は、8月の電気使用安全月間に合わせ、電気の安全使用と電気事故の防止を啓発するもの。今年、伊勢崎、太田、館林、桐生、みどり市の順に東毛地域の市役所を訪問し、啓蒙活動を行う。

出発式では、中島正幸理事長が活動の趣旨や実施内容を記した趣意書による決意表明を行い、群馬県総務部・堀越正史危機管理監が活動に対する期待を示すとともに激励の言葉を述べた後、キャラバン隊は関係者及び県職員の大きな拍手の中、巡回に出発した。



趣意書を読み上げる中島理事長

街路灯のフラッグで夏らしさを演出

藤岡市中央通り商店街(振)

夏らしい雰囲気を出して商店街を活気づけようと、24基の街路灯に取り付けられたフラッグを一新した。商店街では季節ごとにフラッグを変

更しており、今回はマーメイドをデザインしたフラッグと向日葵のアレンジフラワーが9月まで商店街を彩る。

基本的に同じデザインのフラッグを再利用することはなく、今回は人魚姫を題材にした映画の公開に合わせてデザインを決定した。

武田秀雄理事長は「コロナ禍で商店街の活気が失われてしまった。収束した今こそ、賑わいを取り戻したい」と思いを語る。また、来街者からも好評で「マーメイドのデザインが可愛く、涼しさを感じられる。季節ごとに変更されるデザインを楽しみにしている」等の声が聞かれるとのこと。



商店街を彩るフラッグと
アレンジフラワー

ドローンによる空撮業務の 共同受注を始める

群馬県ディスプレイ業(協)

急速に拡大するドローン市場に対応するため、ドローンを使用した空撮や看板等の点検を行う共同受注事業を開始した。

組合員の5者全員が操縦資格を取得したうえで、速い飛行速度と長い飛行時間が特徴の2種類のドローンを購入し受注体制を整えた。

また、1億円の対人・対物賠償責任保険に加入しており、安全・安心がアピールポイントになっている。

担当理事の廣田晋也氏((株)ヒロタデザイン)は「共同受注事業は始まったばかりだが、積極的に展開して事業を拡大していきたい。今後は行政等との連携を視野に入れ、地域社会への貢献も含めて活用の促進を図る」と将来を見据える。



長距離飛行が特徴のドローン